



感染症と自然災害の複合災害に備えて

～地域の情報伝達と避難を考える～

7月18日(土)、古牧地区住民自治協議会の「自主防災研修会」が古牧公民館集会所で開かれました。住自協の役員・12地区の防災会長・防災指導員34名が参加。勉強会では古牧地区防災指導員副代表の杉田浩氏に、「感染症と自然災害の複合災害に備えて～地域の情報伝達と避難を考える～」をテーマに講演をしていただきました。

杉田氏は避難に対する基本姿勢として、自分の命は自分で守る意識を持つことが大切だと強調。災害時には自らの判断で避難行動を取ることが求められると語りました。

また、新型コロナウイルスの感染についても予断を許さない状況が続いていることをあげ、感染拡大防止策が重要としました。

災害発生時には避難所が開設されますが、ウイルス感染のリスクが高い現在、避難の方法を変えなければならないと考えられます。

住自協から配布されている「我が家の防災マニュアル」を活用して、災害時には自分を



防災倉庫の視察

守る行動が必要であると思われます。

続いて「出前講座」として防災倉庫の視察をしました。古牧地区の防災倉庫は古牧小学校と緑ヶ丘小学校の2カ所に置かれています。

今回は、古牧小学校の防災倉庫を、長野市危機管理防災課和田圭司課長補佐様の案内で見学しました。倉庫内には食料・飲料水・救助資機材・水防資機材・照明器材・トイレ用品・生活用品などが備蓄されていました。

今回の視察で防災倉庫のカギの保有者が確認できたこともよかったですと思います。

(総務部)

地域の団体を応援 ～交付団体7団体決まる～

古牧支所では地域のみなさんの活動が活発になり、地域がもっと元気になるようにと地域の団体が行う事業に「古牧の元気応援事業」として支援金を交付しております。

本年度も応募を行い6月25日(木)に審査会が開催され、右のとおり交付団体が決定しました。(古牧支所)

交付決定した事業(7団体)

交付団体名	対 象 事 業
中 村 区	防災用具用品の整備 (搬送担架付きリヤカー購入)
五 分 一 区	〃 (ガスバーナーの購入)
西尾張部区	〃 (男女仮設トイレの購入)
平林区福祉推進委員会	福祉・防災活動用品の整備 (コンパクトスピーカー購入)
西和田区	公園愛護活動に必要な機器 (草刈り機購入)
東和田区	福祉推進用品の整備 (テーブル購入)
西和田区地蔵堂保存会	文化の振興 (高張提灯の修理ほか)

井原愛三翁寿碑

古牧郷土史研究会 西和田 磯野久夫

揮毫	梅若流宗家 55世梅若六郎
所在	西和田2丁目5-19 井原 清
建立	昭和53年7月23日
建設委員長	山崎 治郎
建設副委員長	利根川忠男
委員	岩淵 宏信 笠原 繁二 石川 強 山口あき子 坂本郵満子
相談役	仁科 輝夫 仁科 良市 石川隆太郎 丸山 寿雄 太田仁一郎 田子 勝

西和田の宴会や直会では、必ず「北信流」というお盃のしきたりがあります。これは明治のはじめ頃当時県知事が松代町を訪ねた時のこと、地元の方に「お酒」を振る舞われ 謡曲の一節を添えて盃を上げたのが始まりとされています。

そのしきたりが代々引き継がれ今日に至っています。この「謡曲」の普及に功績を残したのが『井原愛三』氏です。

氏は、観世流（梅若流）師範として、西和田近隣の者に熱心に指導されました。80歳で世界されるまで約60有余年、門弟300人余と非常に多くの門人を指導されました。



西和田地区でも大勢の人が指導を受け、近隣のグループと協力して「長野緑井会」を結成し永く発表会が行われていました。このことから近隣の指導者は少なからず「井原愛三」氏の指導を受けたものと思われます。

現在西和田には「和謡会」「けやき会」の二つのグループが氏の意を汲んで謡曲（北信流）の伝承・普及に取り組まれています。

しゃばえんぴつ



「3密」雑感

この原稿を書いているのが7月13日。東京都内の新型コロナウイルスの1日の新規感染者数が4日連続で200人を超えている事態が続いている頃です。電子顕微鏡でなければ見えないほどの小さなウイルスに、大の人間がこれほどまでに翻弄されてしまうとは、年の初めには到底想像もつきませんでした。この広報誌が皆さんのお手元に届く頃、新型コロナウイルスの感染拡大がどのような状況になっているのか、とても心配です。

緊急事態宣言が解除された後も新型コロナウイルスとの共存を前提とした「新しい生活様式」の実践が求められていますが、高齢者を対象とした「お茶飲みサロン」や「ふれあいサロン」などのボランティア活動に関わっている者

にとって困ったことは、開催に当たって「身体的距離の確保」や「3密（密集・密接・密閉）の回避」が求められていることです。

というのも、「3密」こそが「お茶飲みサロン」や「ふれあいサロン」のキモだからです。声が聞こえる距離で、顔を合わせて談笑することこそが、高齢者の健康維持や地域の活性化に繋がるはずなのに、「人と人との間を空ける」、「3密はダメ」といわれてしまうと、我々の活動の一番大事な部分を変えなければなりません。

私が関わっている活動は、ショッピングタウンの一角をお借りして、来店する高齢の方を対象に開いている「お茶飲みサロン」なのですが、店側からの要請もあり3月から休止が続いています。現在再開に向けて人と人との距離を空けながら3密を避ける方策を考えていますが、狭いスペースをどう工夫するか、なかなかいい知恵が浮かびません。（島田 明）

8月から9月までの主な行事実施日のお知らせ (回覧でお知らせします)



古牧地区の世帯数と人口

令和2年7月1日現在

11,667 世帯

26,815 人

(男 13,228人 女 13,587人)

■発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話259-8359・FAX219-1057)
(E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp)

■発行者 小林 信男

■編集 ぷらネットこまき編集委員会

■印刷 (有)小池印刷



HP
ご覧ください